

2015事業計画

当社は2015年度より、3年間の新中期経営計画「2015事業計画」をスタートさせました。

長期的な目標である「目指す企業像」の実現を見据えながら、各種施策を着実に遂行し、2017年度目標の達成を目指します。

基本方針

1 事業拡大加速によるグローバル競争力強化 (5兆円超事業規模の早期実現)

2 財務基盤のさらなる強化と高収益性追求 (自己資本積増しとROE向上の両立)

財務基盤強化 ■ エクイティバッファ 2,500億円以上 ■ 資金調達余力 6,000億円以上 ■ S&P「A格」取得

高収益性追求 ■ ROE 10%以上 ■ EBITDA マージン 12%以上

3 企業統治と経営プロセスのグローバル適合推進

透明性の向上及び多様性と調和を重視した日本的グローバル経営 ■ 監査等委員会設置会社への移行 ■ 資本政策の明確化 等

施策

1 ドメイン別に役割を明確にした目標と達成戦略の推進

- エネルギー・環境**
- サービス事業強化・効率性向上等による、グローバル競争力のさらなる強化
 - 三菱日立パワーシステムズのPMI^{*1}推進等によるシナジー発揮
 - 分散電源、オイル&ガス等の新事業・新分野への挑戦
- 交通・輸送**
- MRJ事業の確実な推進と収益性改善
 - 客船対策の確実な実行
 - 交通システム案件、ボーイング向け次世代プログラムの着実な推進による事業拡大
- 防衛・宇宙**
- 次期中期経営計画に向けた確実な準備
 - 既存事業領域の拡大と海外事業へのチャレンジ
 - デュアルユース技術^{*2}の活用による事業領域の拡大およびシナジー発揮
- 機械・設備システム**
- Primetals TechnologiesのPMI^{*1}推進等によるシナジー発揮
 - グローバルニッチ事業の事業規模拡大と収益性向上
 - 課題事業対策の推進

*1 Post Merger Integration (企業や事業の合併後の統合プロセス)

*2 民生・防衛どちらにも利用できる高度な先端技術

詳細 ▶ P36 セグメント別営業概況

2 プロダクトミックスの戦略的再構築

- 戦略的評価制度の継続活用による、経営資源の有効活用
- 縮小・撤退および変革事業から、伸長・維持事業への経営資源のシフト
- 個々の事業の企業規模拡大および効率性向上

ポジション別SBU^{*}数と平均売上の推移

	2015年度		将来	
伸長・維持	20:	約1,400億円	20~25:	約1,800億円
変革	15:	約850億円	5~10:	約1,000億円
縮小・撤退	7:	約350億円	5:	約500億円
新規	6:	約30億円	5:	-
合計	48:	約900億円	35~40:	約1,400億円

* SBU: Strategic Business Unit (戦略的評価制度における事業単位)

詳細 ▶ P26 CFO メッセージ

3 比較優位製品及び技術の強化

- ガスタービンやターボチャージャーなど、グローバル競争力を有する製品に経営資源を集中
- エンジニアリング力の差別化と、客船事業や交通システム事業などへの活用分野拡大

詳細 ▶ P20 社長メッセージ

4 次世代に向けた新たな事業やビジネスモデルの変革・創出

- MRJ事業の着実な推進とそれに次ぐ新たなビジネスモデルの創出

MRJ事業の詳細 ▶ P30 特集

5 技術基盤の強化とイノベーション

- 将来の事業規模拡大と収益性強化のための技術基盤の強化とイノベーションの推進
- それらに伴う知財戦略、プラットフォームの活用など

詳細 ▶ P50 知的財産活動・研究開発

6 業務プロセスの高度化と人材の強化

- グローバル企業に相応しい業務プロセスの強化と実践
- それらを支える業務プロセスの強化・高度化、タレントマネジメント・アセットマネジメントの推進

人材強化の詳細 ▶ P49 人材

7 企業統治形態の変革

- 国際的に高い評価を得られるために透明性のある企業統治形態、および業務執行体制の構築
- グローバル企業に相応しい経営プロセスの確立とたゆみない改善

詳細 ▶ P44 コーポレート・ガバナンス

2017年度目標

(2014年度対比)

■ 売上高	5.00 兆円 (成長率25%)
■ 営業利益	4,500 億円 (成長率52%)
■ 当期純利益	2,000 億円 (成長率81%)
■ ROE	10.2 % (増加率57%)
■ 国際格付	S&P A 格

為替レート的前提: 110円/米ドルおよび130円/ユーロ

(参考) 2016年度目標

売上高	4.60兆円
営業利益	3,800億円
当期純利益	1,600億円
ROE	8.0%

目指す企業像

たゆみない技術力の強化と研鑽、
経営の革新および変化と多様性への適応により、
世界の発展に貢献し、ともに成長を続ける企業

- 1 差別化可能な事業領域^{*1}への集中と多様な外力取込みによる強い競争力^{*2}と世界水準の顧客満足度(高い市場シェア)
- 2 企業経営全般^{*3}に対する高い国際評価(ランク、格付)

※1 当社グループの技術とエンジニアリングの蓄積が活かせる高付加価値の機械設備、プラント、交通・輸送システム等

※2 価格および技術の先進性・信頼性と高品質なライフサイクル・サービス

※3 企業規模、創出価値、財務基盤、企業統治と行動規範の実践

基本方針

2015.4

2012事業計画

2015
事業計画

目標

2018.3

施策